

平成30年度の活動の振り返りについて

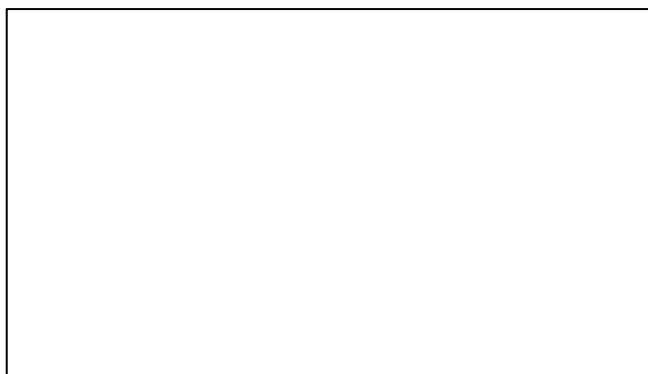
1. バス事業者インタビュー

【目的】

バスの利用を促す活用を事業者と共同で行うことで、事業者と利用者それぞれの活動を共有し、公共交通促進活動の活性化を図ることを目的に実施しました。

【実施概要】

昨年度、相鉄バス株式会社に協力いただき、実施したバス事業者インタビュー動画にテロップや説明資料を挿入し、バスポータルサイトに掲載しました。



2. 鉄道駅におけるバス乗換案内の充実化

【目的】

在住者、来街者ともにわかりやすい案内表示があることで、より公共交通の利便性が向上することが期待されるため、鉄道駅におけるバス乗換案内サインの調査を行いました。

【概要】

昨年度に引き続き、次の駅にてフィールドワークを実施しました。フィールドワークを実施する駅は、駅の特性や利用者実態を踏まえて選定しました。

実施日	フィールドワーク先
平成 30 年 12 月 11 日	東戸塚駅 (JR)・上大岡駅 (京浜急行、市営地下鉄)・関内駅 (市営地下鉄)
平成 30 年 12 月 14 日	中山駅 (JR、市営地下鉄)・二俣川駅 (相模鉄道)・鶴ヶ峰駅 (相模鉄道)

事前に用意したチェックシートを元に、各駅の「ホーム上」、「改札口」、「通路」、「駅前広場・バスターミナル前」、「各バス乗り場・バス路線」を視察しました。

①駅名: 東戸塚駅 鉄道事業者名: JR 乗換先バス事業者名: 相鉄・市営・神奈中

合共有のバス路線	西口	東口	特記事項
その乗り場が出現するバスの案内があるか?	○	○	(東口)行先や系統番号は書いてあるが、どこから乗るか分からない。 (東口)広さが大きい。そのスペースでバスの情報を載せて欲しい。 (東口)各バス乗り場の表示(色、フォントなど)がバラバラだった。
行先、系統番号、系統図	○	○	
時刻表	○	○	
乗車券類	×	×	

②駅名: 上大岡駅 鉄道事業者名: 京急・市営 乗換先バス事業者名: 京急・江ノ電・神奈中・市営

駅前広場・バスターミナル前	バスターミナル	特記事項
駅前広場・バスターミナル前(バス)の路線図はあるか?	○	特記事項: 特約のバス乗り場システム(乗客の系統番号のバリエーションを増やす、乗客の乗降待ちの場所や乗降上の路線図が分かりやすい)と、案内に駅名がある。乗降待ちの場所は路線図の分かりにくいので、分かりやすく工夫が必要。等。
目的地へのバスの情報	○	
路線図	○	
行先、系統番号	○	
乗り場位置	○	
時刻表	○	
乗車券類	×	
特約のバス情報を提供しているか?	○	
他のバスターミナルを乗るバスの案内があるか?	○	

3. 横浜市内のバス停留所における『営業案内』標準化フォーマットの策定について

【目的】

複数社のバス事業者が営業するバス停留所では、案内掲示は煩雑化し、場合によってはバス乗車にあたって最低限必要な情報が省略されていることもあります。利用者にとって必要な案内を洗い出すため、調査を行いました。

【概要】

サンプリング調査を行い、課題を整理しました。

撮影者: 渡邊

バス停名: 相武隧道(写真は金沢八景方向)

住所: 金沢区朝比奈町

バス会社名: 神奈川中央交通、京浜急行バス

コメント:

- 相武隧道から金沢八景間は、神奈中バス及び京浜急行バスの2社が路線を設定しているが、標柱が一本化されておらず2事業者各々が停留所標識を設置している。
- 神奈中バス、京急バスとも乗車方法並びに運賃支払い方法が異なり、神奈中バスは前乗り、申告制前払い、京急バスは中乗り、整理券方式、前降りと設定されている。
- 金沢八景方面においては同じ行先でありながら停留所が2つあり時刻表も各々、乗車方法も異なるなど不慣れた利用者にとっては数層の高い乗り場。
- 運賃についても京急バス停留所のみ提示されており神奈中バスには提示されていない。
- 乗車方法の統一は長期的な課題といえますが、標柱の一本化ならびに乗車方法、運賃表示の徹底などわかりやすさを改善する余地がある。

撮影者: 小田部

バス停名: 港北車庫前 他

住所: 港北区

バス会社名: 横浜市交通局

コメント:(問題点、改善点など)
広告付きバス停が各地に見られるが、せっかくあるスペースをもっと有効に活用できないものかと考える。
レイアウトやデザインにもっと工夫の余地があると思われる。
またメンテナンスも必要で、紙のテープ貼りや剥がした跡が残っている。(自分の車庫前なのに・・・)
ただしこの停留所に路線図が表示されている点は評価できる。